

平成24年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	薬物乱用防止教育推進事業		担当部局庁	スポーツ・青少年局		作成責任者	学校健康教育課長 大路 正浩		
事業開始・終了(予定)年度	平成11年度		担当課室	学校健康教育課					
会計区分	一般会計		施策名	Ⅱ-4 健やかな体の育成及び学校安全の推進					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—		関係する計画、通知等	<ul style="list-style-type: none"> ・第3次薬物乱用防止五か年戦略(平成20年8月薬物乱用対策推進本部決定) ・薬物乱用防止教育の充実について(20文科ス第639号平成20年9月17日) 					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	学校等における薬物乱用防止教育を充実させ、青少年による薬物乱用の根絶及び薬物乱用を拒絶する規範意識の向上を図る。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	薬物乱用防止教育の充実を図るため、大学生向けの啓発教材の作成等を行うとともに、薬物乱用防止教室の取組優良事例集の作成、薬物等に対する意識調査、高校生用教育教材(DVD)の作成を行う。								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求			
		当初予算	37	34	44	30.8	25.4		
		補正予算	-	△1	△1				
		繰越し等	-	-	-				
	計	37	33	43	30.8	25.4			
	執行額	19	16	26.2					
執行率(%)	51.4	48.5	60.9%						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値(25年度)	
	少年の覚醒剤事犯の検挙人員		成果実績	件	258	228	185	150	
			達成度	%	58.1	65.8	81.1		
	少年の大麻事犯の検挙人員		成果実績	件	214	164	82	70	
			達成度	%	32.7	42.7	85.4		
	少年のMDMA等合成麻薬事犯の検挙人員		成果実績	件	140	93	86	70	
		達成度	%	50.0	75.2	81.4			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	①薬物乱用防止教室の開催校と開催率		活動実績 (当初見込み)	開催数	23,275(62.2%)	24,093(69.3%) (24,500)	25,613(70.3%) (28,000)	(28,000)	
	②シンポジウム開催数			箇所	1	1 (1)	1 (1)	(1)	
	③大学生向け啓発教材作成部数			部数	1,400千	1,400千 (1,400千)	1,410千 (1,400千)	(1,400千)	
単位当たりコスト	①273(円/開催校) ②992,380(円/開催数) ③5(円/部)		算出根拠	①単位当たりのコスト=薬物乱用防止教室開催のための経費(6,998,453円)÷開催校数(25,613) ②単位当たりのコスト=シンポジウム開催のための経費(992,380円)÷開催数(1) ③単位当たりのコスト=啓発教材作成のための経費(7,098,000円)÷部数(1,410,000)					
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由					
	諸謝金	3.3百万円	2.6百万円						
	職員旅費	0.2百万円	0.2百万円						
	委員等旅費	5.2百万円	4.8百万円						
	教職員研修費	12.8百万円	17.8百万円						
	初等中等教育等振興事業委託費	9.3百万円	0百万円						
計	30.8百万円	25.4百万円							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・ 状況・ 予算の 状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	本事業は、「第3次薬物乱用防止五か年戦略」に基づき、国として薬物乱用防止教育の充実を図るものである。 不用率が大きくなっている理由は、契約価格が予定を大幅に下回ったことや、東日本大震災の影響を考慮し、都道府県教育委員会の負担軽減のため「薬物等に対する意識調査」の実施を翌年度に見送ったこと等のためである。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の 流れ、 費目・ 用途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	支出先の選定に当たっては、十分な公告期間を確保した上で公募及び一般競争入札を実施しており、その妥当性や競争性を確保した。また、委託等に当たっては、事業経費の費目・用途の内容を厳正に審査するなど、その必要性について厳正にチェックしている。
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・ 成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	薬物乱用防止教育シンポジウムや薬物乱用防止教室を開催するとともに、大学生用啓発教材及び薬物乱用防止教室の取組優良事例集の作成・配布や、高校生用DVDを関係団体に活用してもらうことにより、薬物乱用防止教育の充実を図った。 少年の薬物関係事犯の検挙数は減少しており、着実に成果が上がっていると認められる。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		※類似事業名とその所管部局・府省名	
○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検 結果	<p>・予算の執行状況に係る点検方法については、事業完了報告書等の証拠書類により適切な執行が行われているか確認している。</p> <p>・事業の予算額と執行額に乖離が見られるため、翌年度の予算規模・事業内容については、各年度の執行状況等を踏まえ、より効率的・効果的なものとなるよう、十分に検討する必要がある。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部 改善	<p>1. 事業評価の観点：本事業は、学校等における薬物乱用防止教育を充実させ、青少年による薬物乱用の根絶及び薬物乱用を拒絶する規範意識の向上を図る事業であり、予算執行状況及び長期継続事業の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見：当該事業は、平成21年度、平成22年度決算を踏まえ、平成23年度予算において一定の見直しを実施し、予算の縮減を図ったが、平成23年度決算で不用額が生じていることから、不用額が生じた詳細な要因を分析したうえで、予算執行の実績を適切に概算要求に反映すべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮 減	<p>本事業は、平成23年度決算で不用が生じているが、その主な要因は、東日本大震災の影響を考慮して事業の一部について実施を見送ったことや、平成23年度限りの新規事業について契約価格が予定を大幅に下回ったことであると分析している。その他継続して実施してきた事業については、平成23年度予算において平成21年度、平成22年度決算を踏まえて予算を縮減し、平成24年度予算においても、印刷経費等の積算単価を更に見直すことにより、予算を大幅に縮減している。その結果、平成24年度予算額は、平成23年度決算額と同程度となっている。平成25年度も同様の取組を実施するものとし、事業の更なる効率化を目指し、事務コストを見直すことにより、概算要求に0.1百万円反映した。</p>		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
<p>○内閣府HP(薬物乱用対策) http://www8.cao.go.jp/souki/drug.html</p> <p>○薬物乱用防止教育の充実について(20文科第639号平成20年9月17日) http://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/1297196.htm</p> <p>○薬物乱用防止教室推進マニュアル ～教育委員会における取組事例～ http://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/1297198.htm</p>			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0089	平成23年行政事業レビュー	0316

文部科学省
26.2百万円

諸謝金 0.7百万円
職員旅費 0.1百万円
委員等旅費 2百万円
教職員研修費 0.6百万円 } を含む

大学生向けの啓発教材の作成等を行うとともに、薬物乱用防止教室の取組優良事例集の作成、薬物等に対する意識調査、高校生用教育教材(DVD)の作成を行う。

【公募・委嘱】

A. 道府県教育委員会
(全39道府県)
7百万円

薬物乱用防止教室の指導者
に対する講習会の開催

【公募・委嘱】

B. 兵庫県教育委員会
0.9百万円

薬物乱用防止シンポジウムの開催

【一般競争入札・請負】

C. 民間企業
(全3社)
3.6百万円

啓発資料の版下作成

【一般競争入札・請負】

D. 民間企業
(全3社)
7.6百万円

啓発資料の印刷

【一般競争入札・請負】

E. 民間企業
(全3社)
3.7百万円

啓発資料の梱包発送

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.道府県教育委員会			E.(株)ラシスコ		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	※1件百万円未満のため省略		通信運搬費	啓発資料の梱包発送	2.8
計		0	計		2.8
B.兵庫県教育委員会			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	※1件百万円未満のため省略				
計		0	計		0
C.(株)産経広告社			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	啓発資料の版下作成	3			
計		3	計		0
D.タイヘイ(株)			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
印刷製本費	啓発資料の印刷	7.1			
計		7.1	計		0

支出先上位10者リスト

A. 薬物乱用防止教育推進事業

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	埼玉県教育委員会	薬物乱用防止教育推進事業	0.5	委嘱	—
2	千葉県教育委員会	薬物乱用防止教育推進事業	0.4	委嘱	—
3	愛知県教育委員会	薬物乱用防止教育推進事業	0.3	委嘱	—
4	熊本県教育委員会	薬物乱用防止教育推進事業	0.3	委嘱	—
5	茨城県教育委員会	薬物乱用防止教育推進事業	0.3	委嘱	—
6	香川県教育委員会	薬物乱用防止教育推進事業	0.3	委嘱	—
7	青森県教育委員会	薬物乱用防止教育推進事業	0.3	委嘱	—
8	石川県教育委員会	薬物乱用防止教育推進事業	0.2	委嘱	—
9	高知県教育委員会	薬物乱用防止教育推進事業	0.2	委嘱	—
10	長野県教育委員会	薬物乱用防止教育推進事業	0.2	委嘱	—

B. 薬物乱用防止教育シンポジウム

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	兵庫県教育委員会	薬物乱用防止教育シンポジウム	0.9	委嘱	—

C. 啓発資料の版下作成

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社産経広告社	高校生向け啓発資料の版下作成	3	7	30.92%
2	株式会社アイフィス	薬物乱用防止ポスターの版下作成	0.4	随意契約	—
3	株式会社エムア	「薬物乱用防止教育推進マニュアル」の版下作成	0.2	随意契約	—

D. 啓発資料の印刷

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	タイヘイ株式会社	大学生向け啓発資料の印刷	7.1	2	86.95%
2	株式会社豊洲印刷	「薬物乱用防止教育推進マニュアル」の印刷	0.4	随意契約	—
3	株式会社アイフィス	薬物乱用防止ポスターの印刷	0.1	随意契約	—

E. 啓発資料の梱包発送

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社ランスコ	大学生向け啓発資料の梱包発送	2.8	6	79.81%
2	朝日梱包株式会社	「薬物乱用防止教育推進マニュアル」の梱包発送	0.8	随意契約	—
3	朝日梱包株式会社	薬物乱用防止ポスターの梱包発送	0.1	随意契約	—